取扱説明書

サウンドリピーター　EV-20R

このたびは、TOA サウンドリピーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目　次

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号		行為を強制する記号	
禁　止	接触禁止	強　制	電源プラグを抜け

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強　制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

AC アダプターは専用品を使用する

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

本機は、マイクロホンやCDプレーヤーなどを使って録音した内容を再生放送する録音・再生用サウンドリピーターです。主に、学校、デパート、工場などでの定型放送に適しています。
録音メディアにはフラッシュメモリーを使用しており、最大4つの異なるメッセージを録音・再生できます。
マイクロホンやCDプレーヤーなどから、録音せずに直接放送することもできます。

特　長

- USBインターフェースを装備しているので、パソコンから音声データを転送できます。
- 最大4つのメッセージの録音・再生ができます。
- 4つのメッセージの合計で最大約6分間の録音ができます。
- 録音データに圧縮処理を行っていないので、高音質です。
- パワーアンプを内蔵しているので、スピーカーを接続するだけで放送できます。
- アナログ録音端子を装備しているので、マイクロホンやCDプレーヤーなどからも直接録音できます。
- 再生・停止が外部機器からリモート制御できます。
- 繰り返し放送ができます。

使用上のご注意

- 本機およびACアダプター（別売品）は、ラジオやワイヤレスチューナー機器などからできるだけ離して使用してください。受信障害を引き起こすことがあります。
- ケースを開けたり、改造したりすると、故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。
- 本機に付属のCD-ROMはオーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CDプレーヤーでは使用しないでください。
- 市販の音楽やサウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することが禁じられています。使用時には、著作権の専門家に相談するなどの配慮をお願いします。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- このCD-ROM内のサンプルメッセージは、EV-20R、PM-20EV、EV-20A、EV-20Sでのみ利用できます。その他の製品には使用しないでください。指定以外の製品に使用したい場合は、当社営業所までお問い合わせください。

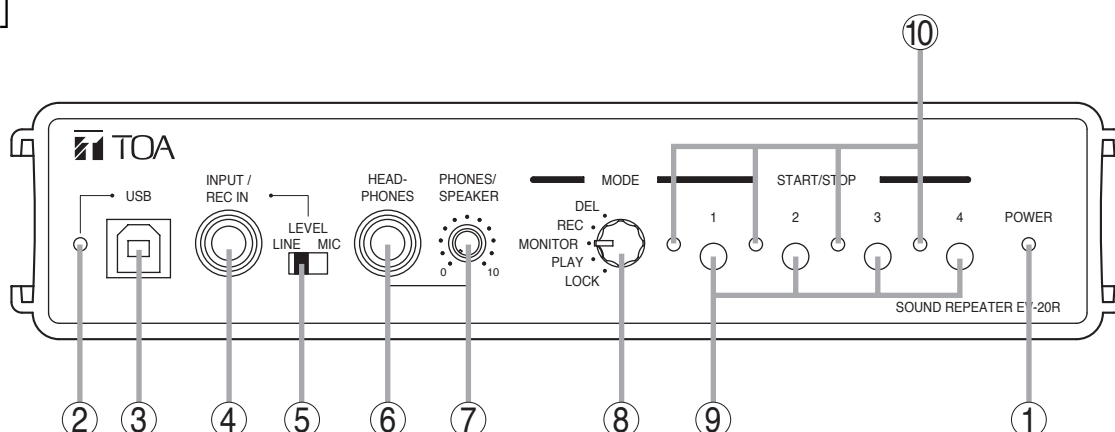
収録音源について

本機には、出荷時に以下の音源が収録されています。

メッセージ1	ウエストミンスター*
メッセージ2	上り4音チャイム*
メッセージ3	下り4音チャイム*
メッセージ4	未登録

* これらの音源は付属CDサンプルメッセージにも収録されています。
※ 収録された音源は、付属ソフトウェアを使って書き換えることができます。

各部の名称とはたらき

［前面］

① 電源表示灯［POWER］
電源を供給すると点灯します。

② USB 通信表示灯
USB で通信中に、点灯または点滅します。

③ USB 端子
USB ケーブル（付属品）を使って、パソコンや USB ハブと接続します。

④ 入力端子［INPUT / REC IN］
マイクや CD プレーヤーなどを接続します。
MIC 時 ：–60 dB、2.2 kΩ 、ホーンジャック、不平衡
LINE 時 ：–20 dB、10 kΩ 、ホーンジャック、不平衡

⑤ 入力レベル切換スイッチ［LEVEL］
マイク接続時は MIC（右側）に、その他の場合は LINE（左側）に設定します。
工場出荷時は、LINE に設定されています。

メ モ
マイクを使用しないときは、LINE（左側）に設定してください。

⑥ ヘッドホン端子［HEADPHONES］
ヘッドホンを接続します。
0 dB、100 Ω 、ホーンジャック、不平衡

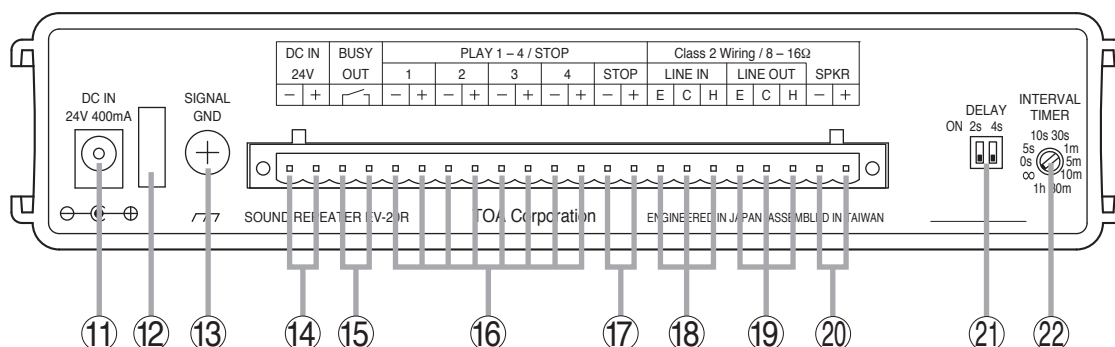
ご注意
ヘッドホンを接続すると、スピーカー出力端子⑳からは出力されません。

⑦ ヘッドホン／スピーカー音量調節つまみ［PHONES/SPEAKER］
ヘッドホン端子⑥またはスピーカー出力端子⑳の出力音量を調節します。

⑧ モード切換スイッチ［MODE］
本機の動作を設定します。
- DEL ：メッセージを消去します。（☞ P. 9）
- REC ：メッセージを録音します。（☞ P. 8）
- MONITOR ：メッセージを確認します。（☞ P. 9）
- PLAY ：メッセージを再生、放送します。（☞ P. 9）
- LOCK ：起動／停止キー⑨の操作ができなくなります。（☞ P. 10）

⑨ 起動／停止キー［START/STOP］
モード切換スイッチ⑧で設定したモードを動作させるメッセージを選択します。

⑩ 起動／停止表示灯
動作状態に合わせて、点灯または点滅します。

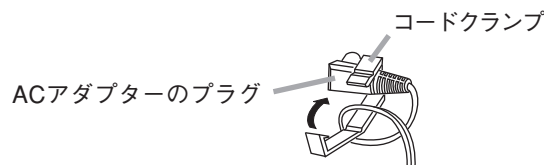
［後面］

⑪ ACアダプター入力端子［DC IN］

別売のACアダプターAD-246を接続します。

メ　モ

DC電源入力端子⑭と同時に接続しているときは、電圧の高い方が優先されます。

⑫ コードクランプ

ACアダプターのプラグが抜け落ちないように、コードを巻きつけて固定します。

⑬ アース端子［SIGNAL GND］

アンプなどの接続機器のアース端子と接続してください。

⑭ DC電源入力端子［DC IN］

DC24 V電源を接続します。

⑮ ビジー出力端子［BUSY］

メッセージの起動後、再生が停止するまでメイク接点を出力します。

また、再生間隔設定スイッチ㉒により繰り返し放送が設定されているときは、その設定インターバル中（「0s」と「∞」の設定時を除く）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に遅延時間設定スイッチ㉑で選択することができます。（☞ P. 14）

接点容量：DC30 V、0.5 A

⑯ 起動入力端子［PLAY］

メッセージを再生するときにメイクします。

接点：無電圧メイク、200 ms以上パルスメイク方式

⑰ 停止入力端子［STOP］

再生を停止するときにメイクします。

接点：無電圧メイク、200 ms以上パルスメイク方式

⑱ ライン入力端子［LINE IN］

放送用の外部演奏機器を入力します。

外部機器からの放送中に本機のメッセージを起動したときは、本機メッセージの再生放送が優先されます。

0 dB、10 kΩ、不平衡（☞ P. 14）

⑲ ライン出力端子［LINE OUT］

メッセージの再生内容やライン入力端子⑱の入力信号を出力します。

0 dB、600 Ω、不平衡（☞ P. 14）

メッセージ再生中は、ライン入力端子からの信号は出力されません。

⑳ スピーカー出力端子［SPKR］

ローインピーダンスのスピーカーを接続します。

㉑ 遅延時間設定スイッチ［DELAY］

メッセージの起動から再生を開始するまでの遅延時間を設定します。

また、再生間隔設定スイッチ㉒により繰り返し放送が設定されているときは、インターバル中（「0s」と「∞」の設定時を除く）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。ただし、ビジー出力をOFFに設定すると遅延時間は0秒になります。（☞ P. 14）

工場出荷時は、0秒およびインターバル中のビジー出力ONに設定されています。

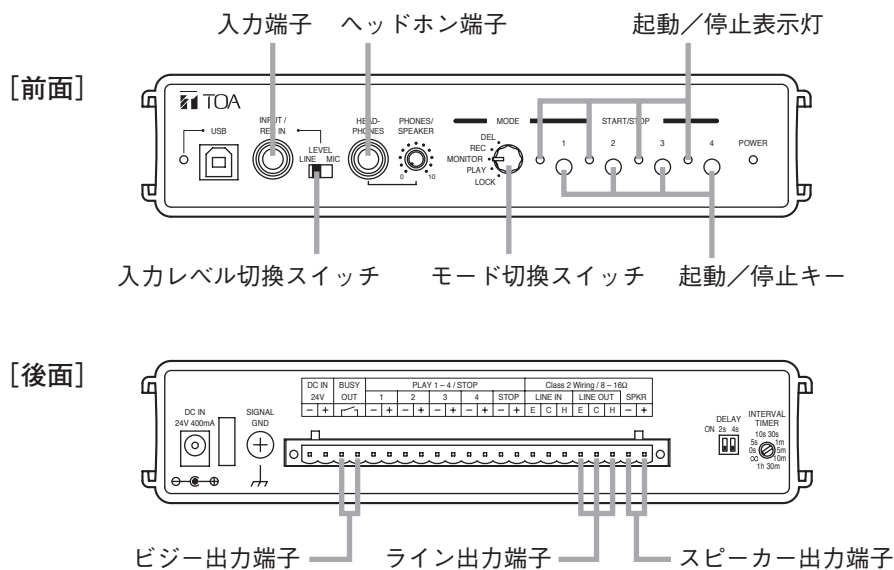
㉒ 再生間隔設定スイッチ［INTERVAL TIMER］

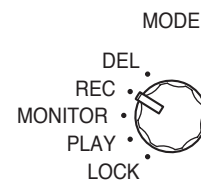
繰り返して放送するときの再生間隔を設定します。（☞ P. 15）

工場出荷時は、「∞（繰り返し放送をしない）」に設定されています。

操作のしかた

［前面］

［後面］

■ 録音する（REC）

内蔵のフラッシュメモリーにメッセージを録音します。録音できる時間は、4つのメッセージの合計で約6分間です。録音回路には、AGC回路が組み込まれていますので、録音レベルの調節は不要です。
モード切換スイッチがRECのとき、入力端子から入力された信号は、ヘッドホン端子およびスピーカー出力端子からのみ出力され、ライン出力端子からは出力されません。
ただし、ヘッドホンを接続すると、スピーカー出力端子からは出力されません。

1 モード切換スイッチをRECにする。

2 入力端子に接続する機器の種類に応じて、入力レベル切換スイッチを切り換える。

マイク接続時はMIC（右側）に、その他の場合はLINE（左側）に設定します。

3 入力端子に、マイクロホンまたはCDプレーヤーなどを接続する。

4 録音するメッセージ番号の起動／停止キーを、起動／停止表示灯が点滅するまで押し、点滅が点灯に変わったら録音を開始する。

メ　モ　キーを押し始めてから1秒後に表示灯が点滅します。点滅を始めてから2秒後に点灯に変わります。

5 録音を停止させるときは、録音中の起動／停止キーをもう一度押す。

メ　モ

- 録音中に録音可能な残り時間が5秒以下になると、起動／停止表示灯が録音終了まで点滅します。
- すでに録音済みのメッセージ番号に録音すると、前回録音した内容が自動的に消去されるので、モード切換スイッチを切り換えて消去する必要はありません。
- 後面のライン入力端子からは録音することはできません。
- 付属CD-ROMの「サンプルメッセージ」にはメッセージのサンプルが収録されており、本機に転送して使用することができます。また、付属CD-ROMにあるデータ転送ソフトウェアを使って、メッセージをバックアップすることもできます。詳しくは、CD-ROM内にある「EV20ソフトウェア取扱説明書.pdf」をお読みください。

■ メッセージを確認する（MONITOR）

メッセージの内容を確認します。
確認中は、ヘッドホン端子およびスピーカー出力端子からのみ出力され、ライン出力端子には出力されません。
ただし、ヘッドホンを接続すると、スピーカー出力端子からは出力されません。

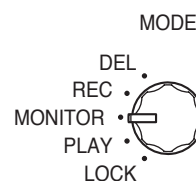
MODE
DEL
REC
MONITOR
PLAY
LOCK

1 モード切換スイッチを MONITOR にする。

録音されているメッセージ番号の起動／停止表示灯が点滅します。

2 確認するメッセージ番号の起動／停止キーを押す。

起動／停止表示灯が点灯し、確認再生を開始します。
確認中はビジー出力端子は出力されません。

ご注意 確認再生中にモード切換スイッチを回すと、メッセージが止まります。

3 確認再生を停止させるときは、確認再生中の起動／停止キーをもう一度押す。

■ 再生する（PLAY）

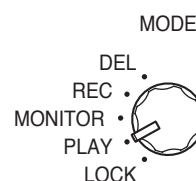
録音したメッセージを再生します。
再生されたメッセージは、ライン出力端子およびスピーカー出力端子から出力されます。ただし、ヘッドホンを接続すると、スピーカー出力端子からは出力されません。
また、再生中はビジー出力端子からメイク接点が出力されます。

MODE
DEL
REC
MONITOR
PLAY
LOCK

1 モード切換スイッチを PLAY にする。

2 再生するメッセージ番号の起動／停止キーを押す。

起動／停止表示灯が点灯し、再生を開始します。
再生が終わると自動的に終了し、表示灯が消灯します。

ご注意 再生中にモード切換スイッチを回すと、メッセージが止まります。

3 再生の途中で停止させるときは、再生中の起動／停止キーをもう一度押す。

■ 消去する（DEL）

メッセージの内容を消去します。

MODE
DEL
REC
MONITOR
PLAY
LOCK

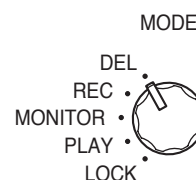
1 モード切換スイッチを DEL にする。

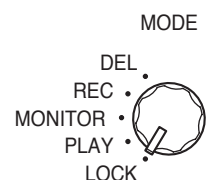
録音されているメッセージ番号の起動／停止表示灯が点滅します。

2 消去するメッセージ番号の起動／停止キーを 1 秒以上押し続ける。

消去するメッセージ番号の起動／停止表示灯のみそのまま点滅し、他の表示灯は消灯します。
起動／停止キーを押してから 3 秒後に起動／停止表示灯が消灯し、消去を完了します。

［すべてのメッセージを一括消去するとき］

起動／停止キーの 1 と 4 を同時に約 3 秒間押し続けます。すべての起動／停止表示灯が点灯し、消去を開始します。約 40 秒後にすべてのメッセージが消去され、表示灯が消灯します。

■ 起動／停止キーを無効にする（LOCK）

モード切換スイッチをLOCKにすると、起動／停止キーの操作ができなくなります。後面の起動入力端子のみで使用する場合は、モード切換スイッチをこの位置にしておくと誤操作を防止することができます。

■ 入力端子およびライン入力端子を使って放送する

メッセージ1～4の確認再生中（MONITORモード）および再生中（PLAYモード）以外は、入力端子（INPUT / REC IN）およびライン入力端子（LINE IN）に接続したマイクロホンやCDプレーヤーなどの音声を放送することもできます。
再生間隔設定スイッチにより繰り返し放送が設定されているときは、インターバル中（「0s」と「∞」の設定時を除く）にこれら入力からの放送ができるかどうかを選択することができます。（☞ P.14）

メ　モ

入力端子およびライン入力端子から入力された信号は、モード切換スイッチの設定とメッセージの動作状態により、出力される場合とされない場合があります。

● 入力端子（INPUT / REC IN）

モード	状態	ライン出力端子［LINE OUT］	スピーカー出力端子［SPKR］
DEL	待機中	×	○
	消去中	×	○
REC	待機中	×	○
	録音中	×	○
MONITOR	待機中	×	○
	モニター中	×	×
PLAY または LOCK	待機中	○	○
	再生中	×	×

○：入力端子からの放送可
×：入力端子からの放送不可

● ライン入力端子（LINE IN）

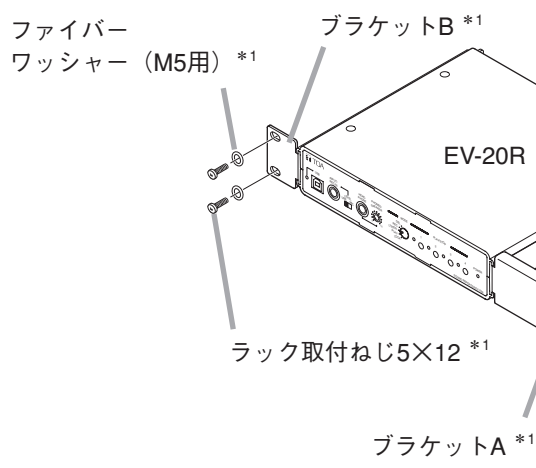
モード	状態	ライン出力端子［LINE OUT］	スピーカー出力端子［SPKR］
DEL	待機中	×	○
	消去中	×	×
REC	待機中	×	○
	録音中	×	×
MONITOR	待機中	×	○
	モニター中	×	×
PLAY または LOCK	待機中	○	○
	再生中	×	×

○：ライン入力端子からの放送可
×：ライン入力端子からの放送不可

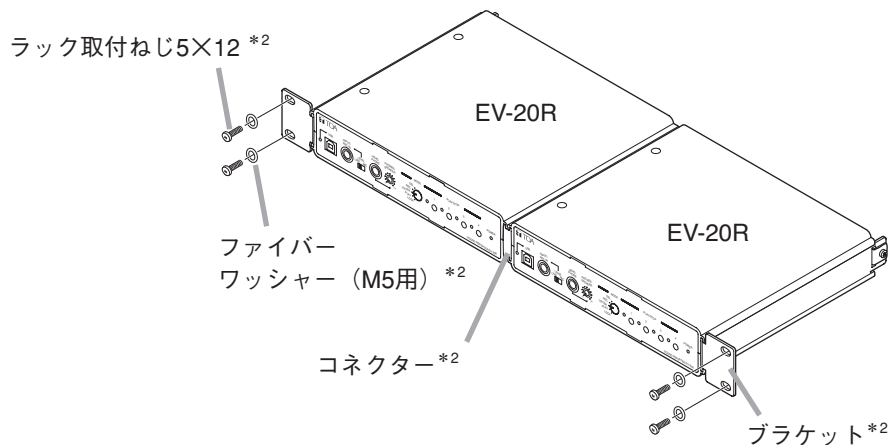
ご注意 ヘッドホンを接続すると、スピーカー出力端子からは出力されません。

設置のしかた

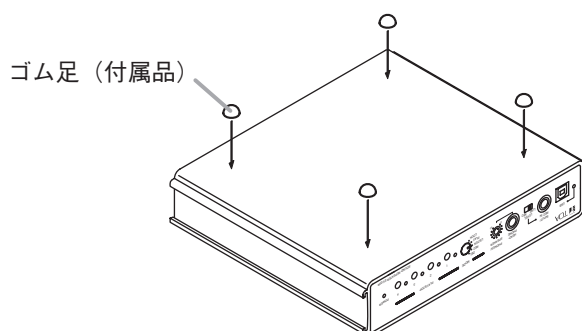
■ 本機１台をラックに取り付けるとき

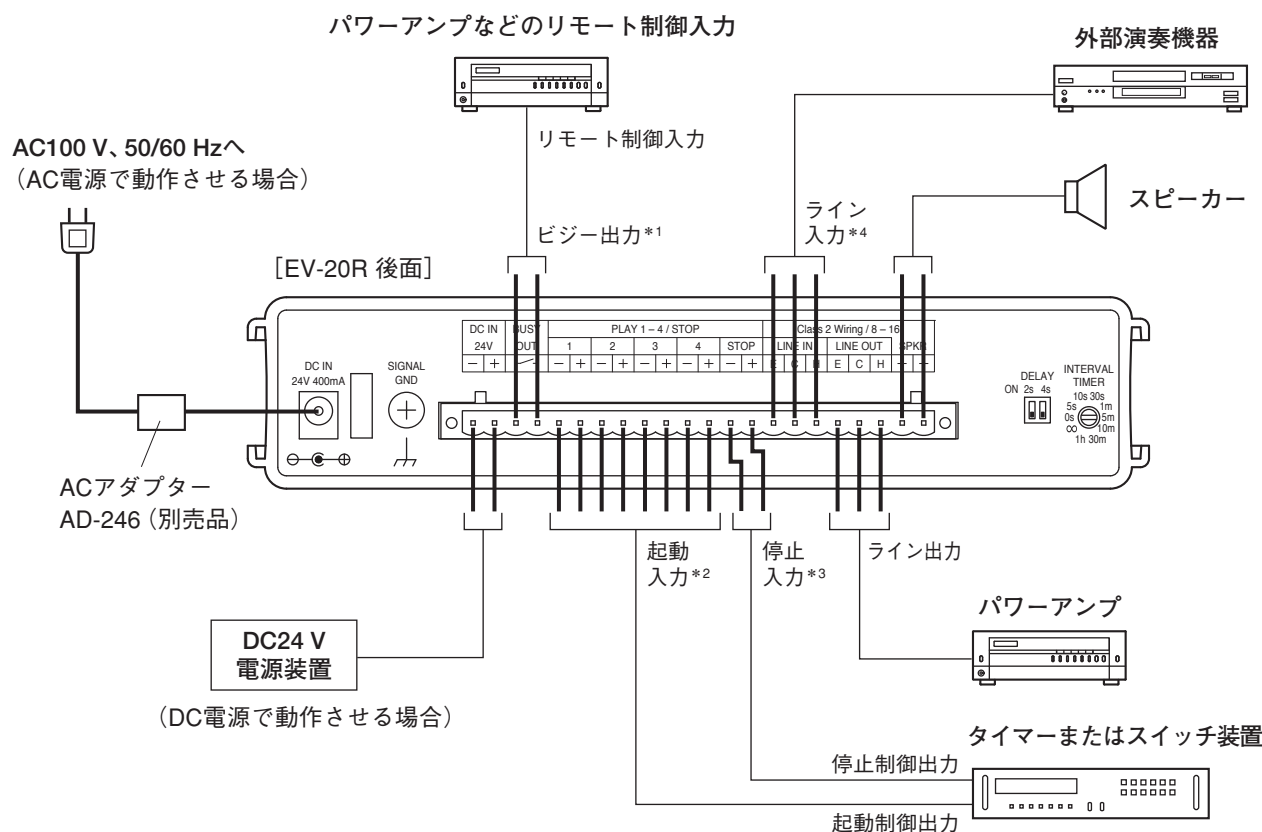
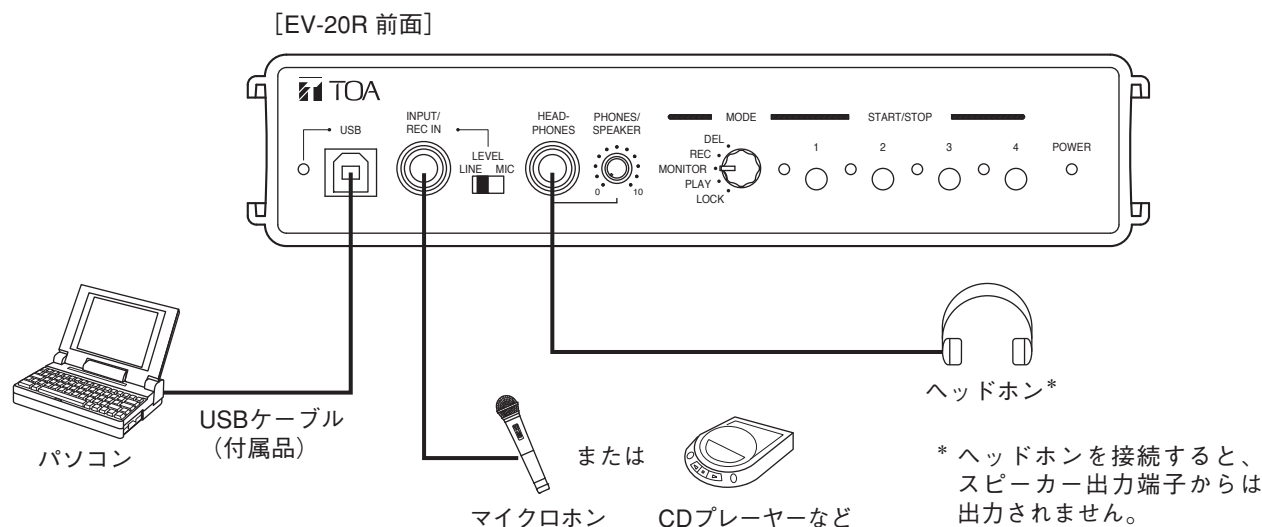
本機１台をラックに取り付けるときは、別売のラックマウントブラケットMB-WT3を使用してください。

*1 MB-WT3の構成部品

■ 本機２台をラックに取り付けるとき

本機２台をラックに取り付けるときは、別売のラックマウントブラケットMB-WT4を使用してください。

*2 MB-WT4の構成部品

■ 卓上に置いて使用するとき

卓上に置いて使用するときは、付属のゴム足を
本機の底面に貼り付けてください。

接続のしかた

■ 接続例

*1 メッセージ再生が起動されると、停止するまでメイクします。
ただし、再生間隔設定スイッチにより繰り返し放送が設定されているときは、インターバル中（「0s」と「∞」の設定時を除く）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。（☞ P.14）
アンプの電源制御などに使用します。

*2 メッセージ番号に対応した端子どうしをメイクすると、メッセージを再生します。

*3 メイクすると、メッセージの再生が停止します。

*4 BGM放送などに使用します。本機のメッセージを起動したときは、本機メッセージの再生放送が優先されます。

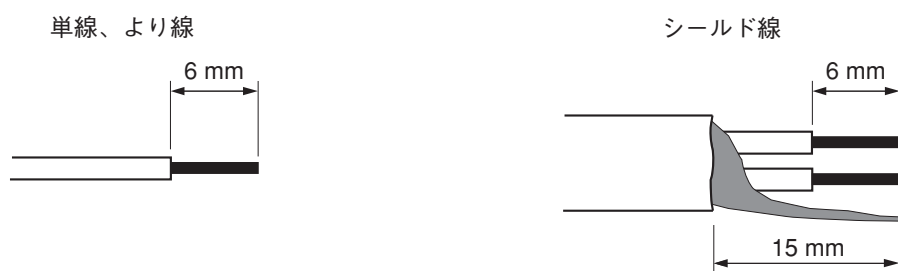
■ 後面コネクターへの結線

ご注意

- コネクター結線用ねじに合った適切なドライバーを使用してください。
- より線、シールド線を使用するときに、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。
  線材を締め付けたときに、はんだスズが破砕し接触抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇することがあります。

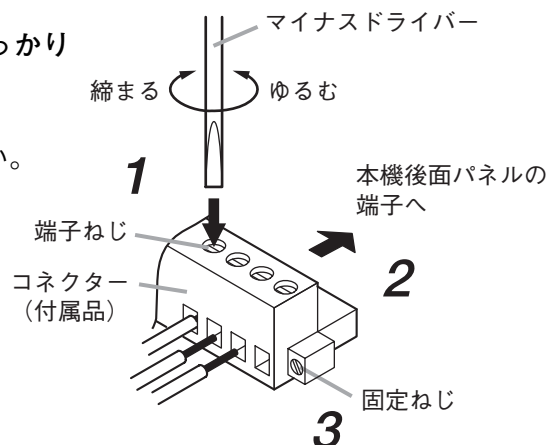
● 接続電線サイズ

導体断面積	0.5 ～ 1.5 mm²
AWG	AWG24 ～ 16 相当

● 線材のむきしろ

● 結線のしかた

1 端子ねじをゆるめて線材を差し込み、端子ねじをしっかりと締め付ける。
※ 線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
抜けた場合は、端子ねじをゆるめ、やり直してください。

2 コネクターを後面パネルの端子に差し込む。

3 固定ねじを締め付ける。

ご注意

手順1と2を逆にしないでください。端子ねじを締め付けるときに、内部基板のコネクターピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。

● スピーカー出力ケーブルの最大延長距離の目安

スピーカー出力端子に接続するスピーカーケーブルは、下表を参考にしてください。

線種（より線）	最大延長距離
0.5 ～ 1.5 mm²	20 m

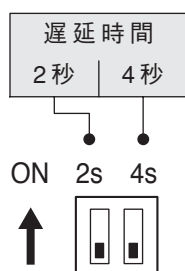
● ライン入出力端子の接続

別売の平衡型トランス（IT-450）を使用して、ライン入出力端子を平衡型に変更できます。
詳しくは、販売店にご相談ください。

放送の遅延時間とビジー出力ON/OFFを設定する

メッセージが起動されてから再生を開始するまでの遅延時間を、本機の後面パネルにある遅延時間設定スイッチで設定できます。遅延時間は、「0秒」「2秒」「4秒」のいずれかに設定できます。
また、再生間隔設定スイッチにより繰り返し放送が設定されているときは、インターバル中（「0s」と「∞」の設定時を除く）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。
※ 工場出荷時は、「0秒」およびインターバル中のビジー出力「ON」に設定されています。

外部機器の動作遅延により、再生内容の頭切れが起こる場合は、遅延時間を「2秒」または「4秒」に設定してください。

メ　モ　遅延時間を「2秒」または「4秒」に設定したときは、遅延の間もビジー出力端子がメイクされます。

設定遅延時間	遅延時間設定スイッチ	インターバル中の動作 *1	
		ビジー出力	入力端子およびライン入力端子からの放送 *2
0秒（工場出荷時）	ON 2s 4s	ON（メイク）	不可
2秒	ON 2s 4s	ON	不可
4秒	ON 2s 4s	ON	不可
0秒	ON 2s 4s	OFF（ブレイク）	可

*1 再生間隔設定スイッチで、繰り返し放送のインターバルを設定したとき（「0s」および「∞」以外を選択したとき）のみ有効
*2 前面の入力端子（INPUT/REC IN）および後面のライン入力端子（LINE IN）に接続した機器からの放送

再生間隔を設定する

後面の再生間隔設定スイッチを使って、繰り返し放送する場合の繰り返し間隔（インターバル）を設定することができます。

繰り返し間隔は、前のメッセージが終了してから次のメッセージが開始されるまでの時間です。
繰り返し間隔には、設定された遅延時間は加算されません。

スイッチの軸にあるへこんだ部分（右図の黒色部分）を、設定したい時間に合わせてください。

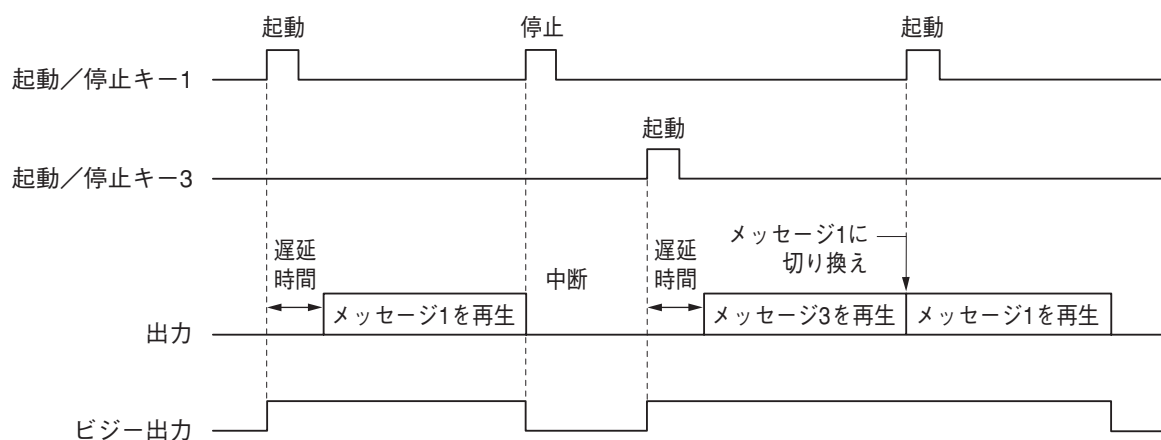
※ 工場出荷時は、「∞（繰り返し放送をしない）」に設定されています。

再生間隔設定スイッチ	設 定 内 容
∞ （工場出荷時）	繰り返し放送をしません。 ただし、「∞」に設定しているときでも起動入力端子をメイクし続けた場合は、間隔なしで連続して放送します。また、放送の途中でブレイクしたときは、メッセージの最後まで再生した後、停止します。
0 s	間隔なしで連続して放送します。
5 s	5 秒間隔で繰り返し放送します。
10 s	10 秒間隔で繰り返し放送します。
30 s	30 秒間隔で繰り返し放送します。
1 m	1 分間隔で繰り返し放送します。
5 m	5 分間隔で繰り返し放送します。
10 m	10 分間隔で繰り返し放送します。
30 m	30 分間隔で繰り返し放送します。
1 h	1 時間間隔で繰り返し放送します。

メ　モ

- 前のメッセージが終了してから次のメッセージが開始されるまでの間は、起動／停止表示灯が点滅します。
- 繰り返し放送を途中で停止させるときは、放送中のメッセージ番号の起動／停止キーを押すか、停止入力端子をメイクしてください。

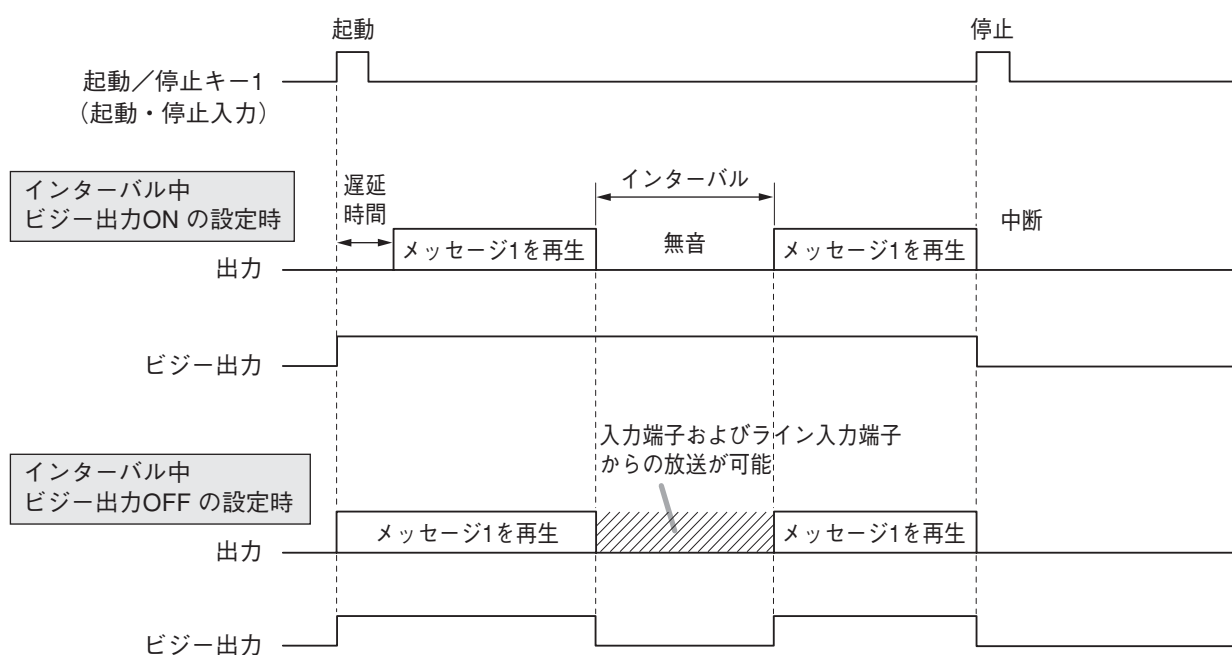
再生動作と制御入出力のタイミング

■ 手動再生中に停止させる、またはメッセージ再生を切り換える

［動作］

● 起動／停止キーを押すと、再生が終了するまでビジー出力端子がメイクします。
再生中に同じキーを押すと、再生が中断され、ビジー出力端子がブレイクします。

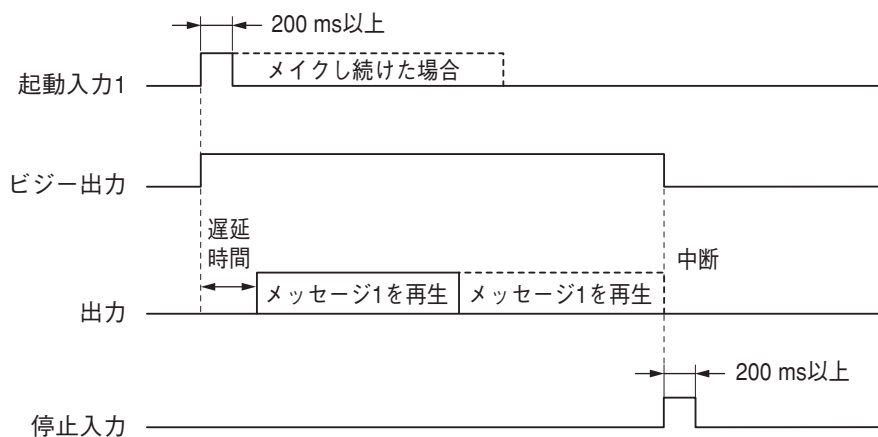
● 再生中に他のメッセージの起動／停止キーを押すと、再生が中断され、後から起動したメッセージの再生が遅延時間なしで開始されます。

メ　モ　停止入力端子をメイクして、停止させることもできます。

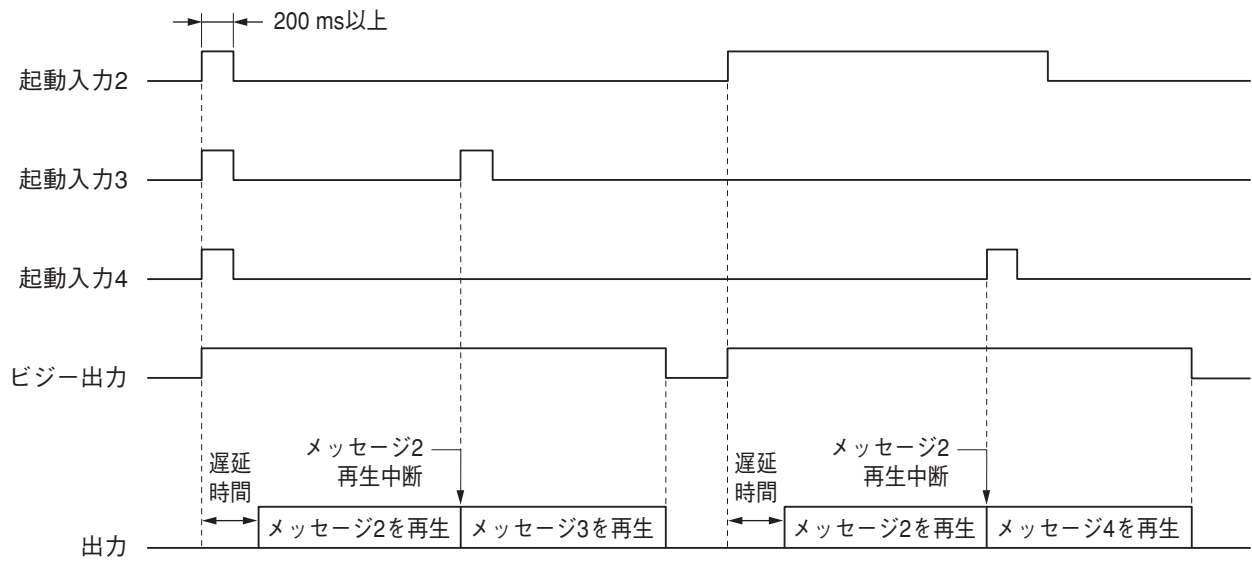
■ 繰り返し放送を行う

［動作］

- 起動／停止キーを押す、または起動入力端子をメイクするとビジー出力がメイクされ、設定された遅延時間後に再生を開始します。
- 再生が終了すると、再生間隔設定スイッチで設定された繰り返し間隔（インターバル）後に同じメッセージが繰り返し再生されます。（☞ P.15）
  以後同様の動作を繰り返します。
- 繰り返し放送を途中で停止させるときは、放送中のメッセージ番号の起動／停止キーを押すか、停止入力端子をメイクしてください。
- インターバル中にビジー出力をメイク（ON）にするかブレイク（OFF）にするかの設定は、遅延時間設定スイッチで行います。（☞ P.14）
  この設定により、インターバル中の本機の動作が異なります。
  ビジー出力ON時 ：インターバル中は無音になります。
  ビジー出力OFF時：インターバル中に前面の入力端子（INPUT/REC IN）および後面のライン入力端子（LINE IN）に接続した機器からの放送ができます。

■ 外部起動により再生する

● メッセージを起動する

［動作］

- 起動入力端子をメイクすると、ビジー出力端子がメイクされ、設定された遅延時間後に再生を開始します。再生中に起動入力端子をブレイクしても、そのメッセージが終了するまで再生動作をします。
- 起動入力端子をメイクし続けると、同じメッセージを繰り返し再生します。繰り返し再生時には遅延時間はありません。
- 再生中に前面パネルの停止キーを押す、または停止入力端子をメイクすると、再生が中断し、ビジー出力端子もブレイクします。
- 起動入力端子をメイクし続けた状態で停止入力端子をメイクすると、再生は停止します。

● 複数のメッセージを同時に起動する、または再生中に他のメッセージを起動する

［動作］

- 複数の起動入力端子を同時にメイクしたときは、メッセージ番号の小さい方が再生され、他は無効となります。
- 再生中に他の起動入力端子をメイクしたときは、再生が中断され、後からメイクしたメッセージの再生を遅延時間なしで開始します。
- 再生中に同じ起動入力端子をメイクしても、再生は繰り返されません。
- 起動入力端子をメイクし続けた状態で他の起動入力端子をメイクすると、後からメイクしたメッセージを再生します。

付属ソフトウェアを使用するとき

本機は、USBインターフェースを装備しています。
付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続すると、次のことができます。

- 付属のCD-ROMに収録されているサンプルメッセージを、ダウンロードして使用する。
- 録音したデータを、パソコンにアップロードする。（録音データのバックアップ）
- パソコンにバックアップしたデータを、ダウンロードする。

付属ソフトウェアのインストールのしかた、および使いかたについては、CD-ROM内にある「EV20ソフトウェア取扱説明書.pdf」をお読みください。

■ システムの条件

本機のソフトウェアを正常に動作させるために、パソコンは以下の条件を推奨します。

対応パソコン	Windows PC（USB端子装備）
パソコン仕様	CPU：300 MHz以上またはそれ以上のPentium互換CPU メモリー：128 MB以上 空きディスク容量：10 MB以上（メッセージ保存用を除く） 光学ドライブ：CD-ROMドライブ
使用OS	Windows XP（32ビット版）／Vista（32ビット版）／7（32ビット版）

※ Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
※ WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

■ CD-ROMのファイル構成

本機に付属のCD-ROMのファイル構成は、以下のとおりです。

＊ このファイルを表示させるためには、Acrobat Readerが必要です。Acrobat Readerがインストールされていない場合は、AdobeのWebサイトからダウンロードしてください。

※ AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

■ ソフトウェア使用上のご注意

● 本機が次の状態にあるときは、電源の入り切り、またはUSBケーブルの抜き差しをしないでください。パソコンが停止することがあります。

- ドライバーまたはドライバーのインストール中
- OSの起動中、または終了の途中
- サスペンド、レジューム中
- 本機とパソコン間のデータ転送中
- 音源書き込み中または読み込み中
- USB通信表示灯が点灯中

また、次のことを行ったときにも、パソコンが停止することがありますので、行わないでください。

- 頻繁な電源の入り切り
- 頻繁なUSBケーブルの抜き差し

● 付属のCD-ROM内のサンプルメッセージは、EV-20R、PM-20EV、EV-20A、EV-20Sでのみ利用できます。その他の製品には使用しないでください。指定以外の製品に使用したい場合は、当社営業所までお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

症　状	調べるところ	処　置
録音ができない。	すでに録音したメッセージの合計時間が6分になっていませんか？	4つのメッセージの合計を6分以内にしてください。
録音した音が歪む。	録音時に、入力レベル切換スイッチが正しく設定されていますか？	入力レベル切換スイッチを、マイク接続時はMIC（右側）に、その他の場合はLINE（左側）に設定してください。

仕　様

電源	外部電源DC24 V、400 mAまたはACアダプターAD-246（別売）より供給
消費電力	10 W（定格出力時）、5 W（電気用品安全法による）
音源方式	44.1 kHzサンプリング16 bit PCM方式（モノラル）
周波数特性	20～20,000 Hz ±3 dB（1 kHz基準）
歪率	1%以下（1 kHz定格出力時）
録音方式	USBデータ転送またはアナログ録音
制御入力	起動1～4、停止：無電圧メイク接点入力、200 msパルスメイク方式、 開放電圧DC30 V、短絡電流10 mA、ターミナルブロック型コネクター
制御出力	ビジー：接点容量DC30 V／0.5 A、ターミナルブロック型コネクター
入力	入力/録音入力：マイク/ライン切換可、–60 dB*1 2.2 kΩ（マイク）/–20 dB*1 10 kΩ（ライン）、不平衡、ホーンジャック ライン入力　：0 dB*1、10 kΩ、不平衡、ターミナルブロック型コネクター
出力	ライン出力　：0 dB*1、600 Ω、不平衡、ターミナルブロック型コネクター ヘッドホン出力：0 dB*1、100 Ω、不平衡、ホーンジャック スピーカー出力：3 W、8 Ω、ターミナルブロック型コネクター
表示LED	POWER、USB、START/STOP 1～4
最大メッセージ数	4 収録音源：メッセージ1（ウエストミンスター*2）、メッセージ2（上り4音チャイム*2）、 メッセージ3（下り4音チャイム*2）、メッセージ4（未登録） ※ 収録された音源は、付属ソフトウェアを使って書き換えることができます。
最大録音時間	6分
メッセージ遅延時間	0、2秒、4秒に設定可能
再生間隔時間	∞、0、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間間隔で設定可能
仕上げ	ケース：ABS樹脂、黒（マンセルN1.0近似色）
寸法	210（幅）×44.6（高さ）×180（奥行）mm　（突起部を除く）
質量	730 g
付属品	CD-ROM ... 1、USBケーブル（1 m） ... 1、不平衡型ホーンプラグ ... 1、 着脱式ターミナルプラグ（22P） ... 1、ゴム足 ... 4

*1 0 dB = 1 V
*2 付属CDサンプルメッセージにも収録されています。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● **別売品**

ACアダプター　：AD-246
平衡型トランス　：IT-450
ラックマウントブラケット　：MB-WT3、MB-WT4

133-12-821-5D